

イラストで学ぶ

心臓ペースメーカー Step by Step



訳：庄田 守男, 小林 義典,
新田 隆

●A4変型 頁352 2007年
定価8,400円(本体8,000円+税5%)
[ISBN 978-4-260-00271-4]医学書院刊

この度、医学書院より刊行された『イラストで学ぶ 心臓ペースメーカー Step by Step』の書評の依頼を受けて、この本を読む機会を得たが、私はページをめくり最初に驚いたのはその内容の斬新さである。どのページにもカラーのイラストが描かれ、文字も適所にカラーが使われており、この手の本にありがちな難解な専門用語が並び、その用語の説明が長々と記述してあるという従来のものとはまったく異なっていた。また、人物や動物の絵が適時挿入されていて、研修医や看護師、理学療法士などのコメディカルの方々も手にとって楽しく学べるように構成されている。患者さんの説明にも、わかりやすくてよいのではないかと思う。

本書は、「ペースメーカーって何？」というこ

とから、ペースメーカーのペーシング、センシングの基本的な概念、さらにはペースメーカーの最新の機能まで、初心者にもわかりやすく書かれている。さらに、論点に関しても端的にまとめられている。例えば、ペーシングモード選択についての論争などは、国によって異なった考え方がされているなど、私にとっても新鮮な内容であった。

以上のように記述すると、この本は初心者のための本のように思われるかもしれないが、例えば偽信号(false signals)に関する記述や、心拍応答ペーシングに関する記述などは、その電氣的な成因までも事細かに記述されている。また、両心室ペーシングに関しての内容からペースメーカー干渉、特に、電磁波干渉(EMI)などの最新の内容から、ペースメーカー外来で必要なトラブルシューティングなども、カラーのイラストを用いてやはり事細かに記述されており、現在臨床でペースメーカーを扱っている専門家が読まれても、十分読み応えのある内容となっている。これも、日本語訳をされた、庄田守男先生、小林義典先生、新田隆先生、3名の著名な先生方のご苦勞の賜物であると察する。

最後に、本書はペースメーカークリニックの実用書として大変有用な1冊であると確信し、購読をお勧めしたい。